



# ひしのみ

山形市立明治小学校  
学校だより  
R4.2.22発行  
第17号  
校長 横山 聡

## 委員会活動引き継ぎ式



### 6年生から5年生へバトンがわたされました

2月16日（水）に、児童委員会の引継ぎ式を行いました。今まで活動をリードしてくてくれた6年生から5年生へバトンを引き継ぐ式です。感染予防のためにオンラインで行いました。

まずは、6年生の現委員長5人から、自分達の取り組みについてのふりかえりと下級生への励ましのメッセージがありました。月の生活目標を達成しようとみんなで協力して取り組んできたこと、日常活動の成果について話があった一方で、感染予防のために思っていたような活動ができずに残念だったという思いも語られました。オンラインでなんとか活動を代替していますが、「なかよし集会」のような活動は中止または延期のままになっているものもあります。子ども達は、感染予防のため活動が縮小したり、変更になったりすることに不平を言うことはありませんが、やはり残念な思いを抱えているのだということを改めて感じました。

6年生のメッセージを受けて、5年生の東海林美羽さんが新委員長を代表して「来年度のからだ委員会は、これまでの保健体育委員会で取り組んできた日常活動を頑張り、新しい内容になった創造活動も、委員会の人々と協力して、みんなが健康でいられる学校にしたいです。」と力強く来年度への思いを語りました。

5年生は今、「6年生を送る会」の準備を頑張っています。15名がそれぞれの役割を担って準備をしています。活動の様子を見ていると、「6年生に感謝の気持ちを伝えるために、自分ができることを丁寧に取り組もう」という気持ちが伝わってきます。「例年やっていることだからやらなければならない」ではなく、「主体的」なのです。オンラインで行うため、運営に難しさはあると思いますが、きっと素敵な会になることと思います。「明治小学校で、みんなと一緒にいることができよかったなあ」と思えるようなしめくりになるよう、教職員も子ども達の活動を支援して参ります。



6年生教室  
タブレットに向かって各委員長  
あいさつ



5年生教室  
タブレットに向かって新委員長代  
表あいさつ



各学年の  
テレビモニター

## 学校・家庭・地域で連携しながら③

学校だより16号で「明治小学校で子ども達に育成したい力（資質・能力）」の根の部分である「1. 自己を支える資質・能力（1）感性・感動・欲求の主体化」について説明しました。今回は、「1. 自己を支える資質・能力」の2番目に挙げている「共生への志向（人間関係形成力・社会形成力）」についてです。

人間関係は悩みの元にもなりますが、生きる喜びや幸せも、人との関係の中でしか得ることはできません。それなのに、人との関係を避けようとしていては、幸せになることはできません。他者が「敵」に見えるか、それとも「仲間」に見えるかで、人生は大きく変わります。「仲間」としてとらえることができるようになるためには、**信頼できる大人との承認関係が土台となります**。このことは「(3) 基本的自尊感情」とも深く関わりますので、次号で改めて述べることにします。

子ども達への働きかけとして大切にしたいことは、**人に関心をもつように支援すること**です。自分にしか関心がない子どもは人に関心を向けること少なくなります。そのような人は、人の発言や行動を見ても、どうしてそのような行動をするのか意図を正しく理解することはできません。「他の人の目を見て、他の人の耳で聞き、他の人の心で感じる」よう努めなければなりません。もちろん、人はどこまでも自分の目で見えることはできませんが、可能な限り、相手の立場に身を置いて、相手の視点に立たなければ、相手の行動を理解することはできません。

### 明治小の子ども達に育てたい力（資質・能力）



- (1) 感性・感動・欲求の主体化
- (2) 共生への志向  
(人間関係形成能力・  
社会形成力)
- (3) 基本的自尊感情・  
社会的自尊感情

心理学者のアドラーは、『「他の人の目を見て、他の人の耳で聞き、他の人の心で感じる」ということ』『「他者は私を支え、私も他者とのつながりの中で他者に貢献できていると感じられること」が生きていく上で大切であると語っています。

このような人への関心は、ともに集団や社会をつくりあげる力の土台となりますし、さらに、「どんなふうに自分は生きていきたいか」「どんな社会を自分たちはつくっていけばいいのか」という問いにも、当然つながっていくこととなります。

本校では、職員研修として外部講師を招き、授業のみならず、学校生活のすべての場面で、子ども同士、教師と子どもの対話を丁寧に積み上げていくことの大切さについて学び、実践に努めております。